

■元正天皇 44代天皇(女帝)。文武天皇の孫。草壁皇子の皇女。中継的天皇であったといわれる。

げんしょうてんのう

680= 生。母は阿閉皇女(のちの元明天皇)。名は氷高または新家。

・ ・ ・ ・ ・ 683= 3歳：弟珂瑠皇子誕生。

文武天皇没・ 686= 6歳：

浄御原令・ ・ 689= 9歳：父草壁皇子が死去。

持統天皇即位 690=10歳：祖母持統天皇即位。

薬師寺三尊像 697=17歳：持統天皇讓位で、弟珂瑠皇子が文武天皇として即位。

不比等確立・ 698=18歳：

持統天皇没・ 702=22歳：持統上皇が死去。

元明天皇即位 707=27歳：文武天皇が死去し、母が元明天皇として即位。

平城京遷都・ 710=30歳：

日本書紀始・ 714=34歳：食封1千戸を加増されたが、時に二品内親王であった。

元正天皇即位 715=35歳：一品に叙せられた。**\*皇太子首皇子(のちの聖武天皇)がいまだ幼弱なために、母元明天皇から讓位され、大極殿に即位し、靈龜と改元した。律令制の矛盾があらわれ、その対策が課題であったといわれる。この年、飢饉に備え麦禾を植えさせ、粟の輸租を許し、**

光明子入内・ 716=36歳：

行基活動禁圧 717=37歳：**\*調庸を改制、以後数回行なっている。僧行基の活動を禁じ、僧尼統制強化策も以後行なっている。百姓の浮浪を禁じ、諸国に諸帳簿の様式を頒下した。美濃に行幸し、養老と改元した。**

養老律令・ ・ 718=38歳：藤原不比等らによって、「養老律令」各十巻が撰修された。

・ ・ ・ ・ ・ 719=39歳：和泉宮に行幸、皇太子首皇子が初めて朝政を聴いた。諸国旱害のため賑恤したが、以後も何度か飢饉による対策がなされている。

藤原不比等没 720=40歳：隼人の反乱、蝦夷の反乱があり、鎮圧のため前者には大伴旅人を、後者には多治比呂守らを派遣した。舍人親王らが「日本書紀」30巻、系図1巻を撰進した。右大臣不比等のために大赦などを行なったが薨じたので、ただちに舍人親王を知太政官事に任じた。

長屋王右大臣 721=41歳：長屋王を右大臣に任じ、詔して藤原房前を内臣とし、帝業を輔翼させる。元明太上天皇が崩御。

百万町歩計画 722=42歳：征隼人將軍らに勲位を授けたが、乱の鎮圧のためと思われる。百万町歩開墾計画を計り、

三世一身法・ 723=43歳：三世一身法を發布。

聖武天皇即位 724=44歳：**\*9年間在位して、皇太子首皇子(聖武天皇)に讓位、**

・ ・ ・ ・ ・ 725=45歳：

行基山崎橋・ 726=46歳：聖武は太上天皇不子のために大赦などを行なう。

長屋王の変・ 729=49歳：聖武は、太上天皇の徳により瑞が現われたので天平に改元すると詔し、

・ ・ ・ ・ ・ 734=54歳：

・ ・ ・ ・ ・ 736=56歳：太上天皇不子のため僧尼を度した。皇后宮で驛宴をなし、葛城王への賜姓(橘宿禰諸兄)を寿ぎ歌を作る。

藤原四卿没・ 737=57歳：

藤原広嗣の乱 740=60歳：聖武の恭仁宮行幸に皇后とともに幸し、新宮に移御。

大仏造立詔・ 743=63歳：

・ ・ ・ ・ ・ 744=64歳：聖武の紫香樂行幸に際し、橘諸兄とともに難波にいたが、難波宮を皇都となすよう宣させた。甲賀寺と盧舍那仏造立に当り、難波から甲賀宮(紫香樂宮)に幸し、

・ ・ ・ ・ ・ 746=66歳：聖武・皇后とともに金鐘寺(東大寺の前身)に幸した。

大仏鑄造始・ 747=67歳：枕席安からず天下に大赦が行なわれたが、

・ ・ ・ ・ ・ 748=68歳：寝殿で崩じた。

佐保の山陵で火葬され、のち、奈保山陵に改葬された。深斎誦経が諸国に命ぜられ、写経が行なわれた。「万葉集」には、左大臣長屋王の佐保宅での歌1首、宇合の西海道節度使任命に際しての歌1首、橘を寿ぐ歌1首、難波宮での歌2首、山村に幸した時の歌1首、雷公鳥の歌1首がある。